

視点

介護・医療両保険で 連携した囲い込み対策を

高齢者向け住まいの過剰な介護サービスや、末期がん・難病患者向け在宅ホスピスの訪問看護の不正請求が問題になっている。介護保険側では検討会が立ち上がり、サービスや指導監督のあり方を、医療保険側では訪問看護事業者の指導のあり方を検討することになった。問題の本質は、安い家賃等で利用者を囲い込み、その分保険給付に振り替え、過剰なサービスで回収するというビジネスモデルそのもので、これは介護保険、医療保険共通である。これら住宅へのサービスは、訪

問介護は事業所と同一・隣接敷地か、同一建物居住者が20人以上、50人以上かで、医療保険の訪問看護では同一建物居住者3人以上か、7割以上かで、各々報酬減額をしており、両者に全く整合性はない。例えば、住居と介護・看護が実質一体的に提供されているものは、財政審の提言どおり、介護保険で特定施設入居者生活介護と同等の評価とする。一体的でないものも、現在訪問看護は人の目を介す審査はしていないが、両保険で審査して高額や過剰なものは、ケアプランや訪問看護指示書を重点的に点

検し、問題事業者は、両保険共同で指導に入り、悪質なら保険指定を取り消す等、両保険で連携した囲い込み対策が必要だろう。過剰な報酬請求自体は問題だが、保険給付に振り替えられた家賃相当は1割等低負担ですむため、このモデルが相応の負担で最期まで自分らしく暮らしたいという利用者のニーズに応えていることも確かである。問題の解決には、ただ規制を強化するだけでなく、適正な家賃と合理的なサービスで暮らせる住まいの確保が必要だろう。

社会保険旬報

目次

No.2963 2025年5月11日

視点

介護・医療両保険で
連携した囲い込み対策を 3

座標

次期改定への要望 日病協の考え説明
データ・ハブを令和臨調が提言 4
支払基金が改革状況を発表
メディカルケアプランナーを提言 5

インタビュー

東京の診療所は熾烈な競争に直面
毎年500～600カ所が廃止に
一医師偏在の是正に向けた
総合的な対策パッケージ
厚生労働省医政局長 森光敬子 6

論評

データ循環型社会の実現に向けて
一JAHISビジョンと医療DX推進 10

ジュネーヴからの便り②

WHO桜 中谷祐貴子 .. 19

動向

社保改革の方向性
春の建議に向けて
財務省が案を提示
一財政制度等審議会・財政制度分科会 .. 20

潮流

財政審が骨太の方針2025を議論 24
令和6年度改定の入院等の影響調査 25
令和6年度改定結果検証の特別調査 26
7年度健保予算は3782億円の赤字 28

NEWS

補助金と診療報酬の両面からの対応必要
ほか 30

資料

令和6年度診療報酬改定結果検証の
特別調査
在宅医療、訪問看護等 39

雇用・労働の動き 41

編集室・ワードカプセル 42